地方自治情報化推進フェア 2026

富士通Japanブースのご案内

日時：10月27日(火) 9:30 – 17:30

10月28日(水) 9:30 – 17:00

会場：幕張メッセ 展示ホール1～3

(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

- **推進フェア公式Webサイト** ▶ https://fair.j-lis.go.jp/
- **参加無料(※上記サイト／QRより事前来場者登録)**

「富士通Japanが描く自治体AX -人とAIが共創する新たな自治体運営-」

人口減少・少子高齢化や、住民ニーズの多様化など、自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。また、限られた職員数の中で持続可能な行政サービスを実現するため、業務変革やデジタル活用の重要性がますます高まっています。富士通Japan は、こうした自治体の課題に対し、AI 活用やデジタル完結を目指した業務効率化、住民・事業者との接点改革、データ利活用、自治体インフラなど、自治体の皆さまに寄り添い、自治体を取り巻く様々な課題の解決に向けて、未来をともに考えるパートナーとして、自治体DX に関する取り組みをご紹介します。

ベンダープレゼンテーション　10月28日(水)13:15～　E会場

「DXからAXへ 変わる自治体行政とAIガバナンス」

富士通株式会社
グローバルコンサルティングビジネスグループ　Japan Unit
シニアマネージャー　吉岡 亮平

本講演では、生成AIの活用が実証実験段階から全庁展開へ進む中で、自治体に求められるAIガバナンスの考え方を解説します。AIガバナンスは活用を制限するためではなく、安心してAI活用を広げるための基盤です。国のAX推進動向や先進自治体の事例、富士通自身の実践経験を踏まえ、AI利用における判断・説明・管理・改善の仕組み、体制・ルール・プロセスの整備ポイントを紹介し、自治体が信頼を維持しながらAI活用を推進するための実践的なアプローチをお伝えします。

＜お申込みはこちら＞

© 2026 Fujitsu Limited

出展内容

相談業務のその先へ

【eXcloser、CHORDSHIP（AIチャットボット、VoiceBOT、FAQ Creator）、CRMate、相談支援エージェント ERERA for MCWEL（仮称）、知識が働く自治体DXコンサルサービス（仮称）】

相談窓口を起点に、リモート窓口・AI支援・相談記録の一元管理・基幹システム連携を実現。蓄積データを分析・活用し、さらなるCXの向上と職員様の業務支援へつなぐ好循環を生み出します。

税務DXを加速させるAI活用

【住民税賦課修正AI】【滞納整理支援AI】

住民税の賦課修正と、滞納整理における財産照会先の選定をAIで支援。税業務全体の効率化と職員の判断・作業負担の軽減を実現します。

AIデータ分析で生活習慣病リスクを分析

【RezeptPlus生活習慣病リスク分析AIサービス】

生活習慣病リスク分析AIサービスは、RezeptPlus内のレセプトデータから疾病発症リスクを分析し潜在的ハイリスク者へアプローチを可能とする被保護者健康管理支援事業に活用いただくための分析サービスです。（2027年5月提供開始予定）

介護認定業務をもっとスマートに

【訪問調査モバイル、電子審査会NEXT】

介護保険の訪問調査から認定審査までをDX化。調査票の電子化と審査会のペーパーレス・リモート化により、業務負荷軽減、認定期間短縮、審査件数拡大と住民サービス向上を支援します。

自治体財務を高度化する電子取引連携ソリューション

【IPKNOWLEDGE EYEサービス（電子請求、電子公印、電子契約、支払通知）】

IPKNOWLEDGE財務情報システムでは、電子請求や電子契約、電子帳票のソリューションと連携し、自治体様における財務業務の高度化を推進します。

VCN活用による旅費業務改革

【IPKNOWLEDGE旅費管理システム】

物理カード不要のVCNで、旅費の立替と領収書提出を撤廃します。また、決済と旅行情報を自動突合し、煩雑な審査業務を劇的に効率化。職員の事務負担を軽減し、自治体の旅費業務改革を加速するソリューションをご提案します。

公共事業の情報集約・データ利活用による業務支援ソリューション

【Nexus Public DataHub】

散在する情報を集約し、自治体職員と事業者双方へワンストップで提供します。AIを活用した業務支援により、業務効率化と自治体DXを実現します。

首長判断を、AIが支える未来の市役所

【コンセプトデモ（首長判断AI）】

AIが自治体の状況を整理し、課題の優先順位付け、選択肢の提示、説明材料の作成までを支援。AIに判断を委ねず、首長が根拠を確認しながら最終判断する、未来の意思決定プロセスを体験。

フロントとバックヤードをシームレスにつなぐ行政AX

【Salesforce】

フロント接点から業務基盤までを一気通貫で変革。公営住宅管理におけるフロント接点のデジタル化と業務プロセス改革の事例を交え、AIエージェントが実現する次世代行政サービスの将来像をご紹介します。

サイバーセキュリティ点検/対応力強化

【セキュリティポリシー策定支援/外部監査/脆弱性診断サービス EDR（CrowdStrike/Yarai/ApexOne/Cybereason）】

地方自治法改正や生成AIによる脅威増加を受け、自治体ではルール整備だけでなく継続的な監査や侵入を前提とした検知・即応体制が求められます。問題解決に向け、監査・診断・ポリシー策定支援と最新EDRをご紹介します。

【お問い合わせ先】
富士通Japan株式会社
お客様総合センター
0120-835-554
受付時間：9時～12時、13時～17時30分
(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

【最新情報はこちらのサイトでも発信しています】

- 富士通Japan自治体サイト
- 富士通 教育＆自治体note

© 2026 Fujitsu Limited